

# Press Release

【2026年1月13日】  
送付枚数 本票含め3枚



報道機関 各位

## 「摂食嚥下外来」を山口大学病院に開設

誤嚥性肺炎の予防と「口から食べる」生活を支える、多職種による専門外来

山口大学医学部附属病院は、このたび食べる・飲み込む機能(摂食嚥下機能)の低下に専門的に対応する「摂食嚥下外来」を開設しました。誤嚥性肺炎は近年増加傾向にあり、高齢者の肺炎の7割以上を占めるといわれています。誤嚥による肺炎は重症化のリスクがあるだけでなく、誤嚥を繰り返すことで経口摂取が制限され、体重減少や低栄養、ひいては生活の質の低下につながることも少なくありません。

「摂食嚥下外来」では、耳鼻咽喉科医、歯科口腔外科医、摂食嚥下認定看護師、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士による多職種が連携し、摂食嚥下専門の医療チームとして、口腔や嚥下の機能を評価し、原因に応じた治療方針を検討します。患者さん一人ひとりの状態に合わせた嚥下リハビリテーションや食事指導、栄養指導を行います。



摂食嚥下外来スタッフ



嚥下内視鏡検査

本外来は予約制となっており、原則として紹介状が必要です。

受診をご希望の場合は、まず、かかりつけ医にご相談いただき、紹介元の医療機関を通じて当院へご予約ください。

初診時には、飲み込みにくさや食事中のむせなどの自覚症状、現在の食事の形態、体重減少などについて詳しくお伺いします。耳鼻咽喉科医が診察を行い、内視鏡検査を用いて嚥下機能を評価します。併せて、歯科口腔外科医や歯科衛生士が口腔の機能も評価します。血液検査による栄養状態の評価や、CT検査で肺炎の有無を調べる場合もあります。

これらの検査結果に基づき、患者さんの状態に合わせた治療方針を立案します。治療は、食事の形態や食べ方の工夫、嚥下リハビリテーション、栄養指導を中心に行います。また、飲み込みの機能について改善が難しいと判断される場合には、外科的治療(嚥下機能改善手術、誤嚥防止術)を検討することもできます。

治療後は、経過を確認しながら継続的な評価と支援を行い、誤嚥性肺炎の予防と「口から食べる」生活の維持を目指します。

### 【お問い合わせ】

山口大学医学部総務課広報・国際係(西村)  
〒755-8505 山口県宇部市南小串 1-1-1  
TEL:0836-22-2009  
FAX:0836-22-2113  
E-mail:[me268@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:me268@yamaguchi-u.ac.jp)

発信者 国立大学法人山口大学総務企画部

総務課広報室

〒753-8511 山口市吉田 1677-1

TEL 083-933-5007

FAX 083-933-5013

E-mail sh011@yamaguchi-u.ac.jp

食べ物を  
飲み込むとき  
の時に引っこかる

食べるときに  
咳が出る

食べ物を  
うまく飲み込めず  
食事の量が減った

食事に  
時間がかかる

飲み物を  
飲み込むときに  
むせる

こんな症状で  
ご自身やご家族の方が  
悩んでいませんか？

もしかしたら  
“嚥む力”や“安全に飲み込む力”  
(=摂食嚥下機能)が  
低下しているかもしれません。

本院の摂食嚥下外来では  
摂食嚥下状態の検査・治療を行っています。

一つでも症状が当てはまる方は  
ぜひ、かかりつけ医・歯科医に  
ご相談ください。



## 検査について

### ● スクリーニング検査

反復唾液飲み検査や水飲みテスト、食物テストを行い、嚥下状態を確認します。また、血中酸素飽和濃度もチェックします。

### ● 口腔内検査

歯や歯ぐきの状態、舌の動き、嚥む力などを視診、触診で検査し、そしゃく機能を確認します。

### ● 嚥下内視鏡検査(VE)

鼻から内視鏡を挿入し、食物や飲み物を飲み込む際の喉の動きを確認したり、食物が気管に入らないかを調べたりします。



### ● 嚥下造影検査(VF)

造影剤を含んだ食物や飲み物をX線透視下で飲み込み、嚥下の様子を確認・評価します。

● 食事の調整やりハビリを継続しても改善しない  
場合には、手術を行うことがあります。

**嚥下機能改善手術** .....  
のどを嚥下しやすい形状にする手術です。  
術後にリハビリが必要です。

**誤嚥防止術** .....  
食べ物の通り道と気道を分離し、誤嚥を完全に  
防止する手術です。

お問い合わせはこちらまで

**山口大学医学部附属病院**

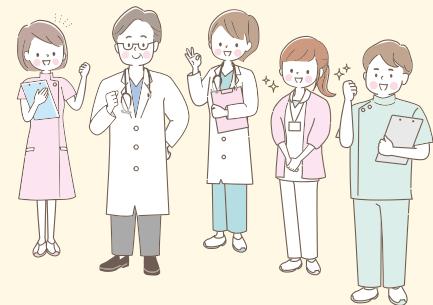
〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1  
TEL:0836-22-2520(耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来)



山口大学医学部附属病院

# 摂食嚥下 外来

ご利用案内



 YAMAGUCHI UNIVERSITY  
山口大学

## 摂食嚥下外来について

「摂食嚥下」とは、食べ物を口中に入れて嚥み、飲み込むという一連の動作を指します。この過程のいずれかにおいて、何らかの障害が起きた状態を「摂食嚥下障害」と言います。摂食嚥下障害が起きる要因は、加齢をはじめ、脳卒中や手術、放射線治療の影響によるものなど多くあります。摂食嚥下外来では、そうした患者さんを対象に治療を行っています。

## 摂食嚥下専門チームが対応

本院には摂食嚥下専門の医療チームがあります。耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師、歯科口腔外科医師、摂食嚥下認定看護師、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士の多職種で構成し、安全な食事を支援するために、さまざまな摂食嚥下治療を行っています。



摂食嚥下専門スタッフ

## 継続的なフォローアップ体制

### ●個別化・オーダーメイドの訓練プログラム

多職種連携による定期的なカンファレンスを行います。また、VE・VF検査結果に基づき、患者さん一人ひとりに合わせたプログラムを提案します。

### ●入院から外来へのスムーズな移行を支援

入院時に、外来へ移行するまでの治療プランを患者さんに提案します。リハビリの内容について具体的なデモンストレーションを行い、自宅環境の評価や個別の食事指導を行います。

## 受診方法

### 外来受診の方

あらかじめ、かかりつけ医・歯科医にご相談いただき、医師による予約取得の上、紹介状をお持ちになってご来院ください。



### 摂食嚥下外来へ

※ホームページから専用の問診表をダウンロードし、事前にご記入をお願いいたします。  
※受診後は、摂食嚥下状態を確認するための検査を受けていただきます。

### 入院中の方

現在入院中で、飲み込みに関して心配がある方は病棟スタッフにご相談ください。



### 摂食嚥下外来へ

※受診の受付などは、主治医が行います。

## 治療の流れ

### 耳鼻咽喉科・頭頸部外科受診

嚥下内視鏡検査をはじめとする各種検査を行い、リハビリテーションの処方をします。



### 歯科口腔外科受診

患者さんの口腔機能の評価と口腔ケアを行います。必要に応じて、摂食嚥下機能を補助する装置を作製します。



### 栄養指導・栄養評価

患者さん一人ひとりの摂食嚥下機能に応じた適切な食事の形態や、栄養指導を行います。



### リハビリテーション

言語聴覚士が、患者さん一人ひとりの病態に合わせたオーダーメイドのリハビリテーションを行います。



### 多職種カンファレンス

耳鼻咽喉科・頭頸部外科医師、歯科口腔外科医師、摂食嚥下認定看護師、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士が集まり、栄養アセスメントや食事形態・リハビリテーションについて検討します。



毎週金曜の午前中に実施しています。